

目標達成計画

作成日: 平成25年 2月 18日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2・4 (2・3)	地域との関わりは少しずつ進めている段階。ボランティアやサークル活動との関わりを推進してきたい。	近隣への情報発信を積極的に行い、ホームの存在を知っていただき、地域行事への積極的な参加や交流ができる。	運営推進会議を通じての町内会などの地域行事等を介した交流を図る。 ボランティアグループやサークル活動を積極的に受け入れて、交流の充実を図る。	6ヶ月
2	49 (18)	利用者の多くが車いすなど心身の状態もあり外出の機会が少ない。 ご家族も外出が少ないと感じている。	日常の近隣への散歩や外気浴、外食会などの機会を増やし、記録に残すことでご家族にも外出の実態を理解いただくことができる。	外食会の企画・実施。 日常短時間でも外気浴や散歩の機会を作るようにシフトの運用に工夫する。 外出等の記録を毎月の家族へのレポートに記載すると共に行事の写真を添付して理解しやすい工夫をする。	6ヶ月
3	35 (13)	定期的に避難誘導訓練を実施しているが、火災や地震、風水害等の災害時に昼夜を問わず利用者が避難できる方法について、地域との協力体制ができていない。	非常災害時に利用者が安全に避難誘導されるようにホーム全体で意識を高め習熟度を上げる。	ホーム全体で災害対策の意識を高め、夜間想定を含めて利用者を無事に避難誘導できるよう訓練を重ねる。 地域近隣と非常災害時の対応について協力体制を築く。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。